

すいすいビジョン2029

アクションプラン

令和2年度(2020年度)~令和7年度(2025年度)



このまちの水の未来を考える



SPWU
吹田市水道部
Suita Public Water Utility



はじめに

令和2年度（2020年度）から令和11年度（2029年度）までの10年間の水道事業の基本計画である「すいすいビジョン2029（以下、ビジョンという。）」を推進するために、令和7年度（2025年度）までの具体的な実行計画として「アクションプラン」を策定しました。

現在、本市の人口は微増傾向にあるものの、節水型社会の定着や大口使用者の地下水利用専用水道への転換などにより水需要は減少傾向にあり、それに伴い水道料金収入が減り続ける極めて厳しい経営環境となっています。また、高度経済成長期に建設した多くの水道施設が老朽化しており、一斉に更新の時期を迎えています。

このような状況の中、健全な水道システムを将来世代に引き継ぐためには、水道施設の更新、耐震化整備を着実に進めるとともに、経営基盤の強化を図っていく必要があります。

この「アクションプラン」では、ビジョンの基本理念である「未来につなぐ市民と育む信頼のすいた水道」を目指し、「安全」、「強靱」、「持続」、「地域」の4つの基本方針に基づく具体的な取組内容、計画スケジュール、管理指標や財政推計を示しています。

ここに示した取組を、毎年、PDCAサイクルで進捗管理しながら進めていきます。

これまで「地域の水道」として市民の皆様と一緒に築いてきた安心・安全の水道をこれからも未来へつないでいくために、強靱な水道システムを構築するとともに、効率的な経営と地域に根差した事業運営を推進し、市民と育む「信頼のすいた水道」を目指します。



目次

1	「すいすいビジョン2029」基本方針・施策・事業	1
	基本方針Ⅰ：安全	3
	基本方針Ⅱ：強靱	6
	基本方針Ⅲ：持続	14
	基本方針Ⅳ：地域	19
2	管理指標	23
3	財政推計	25



基本理念

未来につなぐ市民と育む信頼のすいた水道

基本方針

施策

事業

安全

I 安全で安心できる
水道水の供給

1. 飲み水としての安全を守る

- (1) 高水準な浄水処理の維持・向上
- (2) 鉛製給水管の対策
- (3) 直結給水の推進、給水装置及び貯水槽水道の適正管理

強靱

II 災害に強く、安定して供給できる
水道施設・体制の構築

1. ふたつの水源を守り充実を

- (1) 地下水源の充実
- (2) 淀川表流水の維持

2. 片山浄水所を中心とした整備を進める

- (1) 片山浄水所水処理施設の更新
- (2) 片山浄水所の場内整備
- (3) 片山浄水所・泉浄水所連絡管の整備
- (4) 南千里分岐・片山浄水所送水管の整備

3. 浄水所・配水場の整備と管理の向上を

- (1) 浄配水施設の更新・耐震化
- (2) 浄配水施設の維持・管理

4. 水道管の整備と管理の向上を

- (1) 基幹管路の整備
- (2) 配水支管の整備
- (3) 管路の維持管理の充実

5. 災害に強い体制を築く

- (1) 計画・マニュアルの充実
- (2) 応急給水・復旧体制の充実

持続

III 将来にわたり持続可能な
水道事業の経営

1. 強固な経営の土台を築く

- (1) 計画の推進
- (2) 財源確保の取組
- (3) 広域連携による効率的な事業実施
- (4) 効率的な業務執行
- (5) 技術監理の向上

2. 人を育て、強い組織を築く

- (1) 人材育成と技術の継承
- (2) 組織編成の最適化

3. みんなの地球環境を守る

- (1) 環境に配慮した事業の推進

地域

IV 吹田らしさを活かした
市民に身近な水道事業の運営

1. 使う人に便利で快適なサービスを

- (1) 料金に係るサービスの充実
- (2) 給水装置の維持管理に係るサービスの充実
- (3) 水道水質に係るサービスの充実

2. 市民といっしょに水道を考える

- (1) 多様な手段による広報の充実
- (2) 市民参画の推進による広聴の充実
- (3) フューチャー・デザインの取組
- (4) 市民とのパートナーシップの推進



～安全で安心できる水道水の供給～



SPWU
吹田市水道部
Suita Public Water Utility

方針Ⅰ 安全で安心できる水道水の供給

施策Ⅰ 飲み水としての安全を守る

事業(1) 高水準な浄水処理の維持・向上

【事業目的・概要】

水安全計画に基づき水源からじゃ口までの水質管理を徹底し、安全な水道水の供給を行うとともに、水道GLPの認定維持をはじめ、水質管理の維持向上を図ります。

水道使用者の水道水の安全性に対する信頼、高い満足度の維持向上に努めます。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
水安全計画の推進	運用	・見直し ・先進事例調査 ・運用実務手帳の更新		・見直し			◎水質G ○工務室 浄水室 総務G ●水安全計画検討委員会
水質監視の充実	充実						◎水質G ○浄水G
水道GLPの認定維持		中間審査		更新		中間審査	水質G
水源水質保全の取組 (淀川水質協議会ほか)	実施						◎水質G ○浄水G
項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
水質基準不適合率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
水源確認回数	28回以上	28回以上	28回以上	28回以上	28回以上	28回以上	

方針Ⅰ 安全で安心できる水道水の供給

施策Ⅰ 飲み水としての安全を守る

事業(2) 鉛製給水管の対策

【事業目的・概要】

残存している鉛製給水管の解消を図り、漏水を防止し、より安心して使ってもらえる水道水を供給します。

面的整備事業完了後も、様々な機会を捉えて引き続き鉛製給水管の解消を目指し取り組みます。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
面的整備による解消				終了			整備G
布設替工事による 残存箇所への解消	検討	実施					整備G
経年管更新、漏水 修繕等に伴う鉛製 給水管の解消	実施						◎工務室
助成金制度の利用 促進・周知 (市報、広報誌、 ホームページ等の 活用)	実施						給水相談G
項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
鉛製給水管率	4.5%	4.2%	3.9%	3.7%	3.4%	3.2%	

方針Ⅰ 安全で安心できる水道水の供給

施策Ⅰ 飲み水としての安全を守る

事業(3) 直結給水の推進、給水装置及び貯水槽水道の適正管理

【事業目的・概要】

使用者が安心して水道水を使用できるよう小規模貯水槽水道等の適正管理に向けた指導、助言等を行うとともに直結給水の普及に努めます。

給水装置の適正な設置、修繕による安全な水の安定供給を目指します。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
直結給水の啓発、推進	実施						◎給水相談G ○工務室
指定給水装置工事事業者への指導、実態把握・情報発信	実施 指定給水装置工事事業者の更新						給水相談G
小規模貯水槽水道の点検、指導・助言	実施						給水相談G
管理指標	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	直結給水率	71.1%	71.6%	72.1%	72.6%	72.9%	73.2%
	小規模貯水槽水道点検率	95.8%	96.0%	96.1%	96.3%	96.5%	96.6%

【凡例】

- ◎：主担当
- ：関連部署
- ：推進体制

強靱

～災害に強く、安定して供給できる
水道施設・体制の構築～



SPWU
吹田市水道部
Suita Public Water Utility

方針Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

【事業目的・概要】
 地震等の自然災害に強く、水質が安定した地下水源の増強、既存施設の適切な維持管理を行い、水道水の安定供給を図ります。
 市域南部の拠点となる片山浄水所の水源として井戸の新設、掘替えを実施します。

施策Ⅰ ふたつの水源を守り充実を

事業(Ⅰ) 地下水源の充実

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
片山浄水所地下水源の増強	井戸用地の確保、掘削(4本)						◎施設G ○浄水G
片山浄水所地下水源の維持・管理	実施						◎施設G ○浄水G
泉浄水所地下水源の維持・管理	実施						◎施設G ○浄水G

管理指標	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	地下水源率		9.7%	13.7%	13.8%	13.9%	11.3%

方針Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

【事業目的・概要】
 本市の9割以上の水道水の水源である淀川表流水を確保し、安定した水道水の供給を維持します。
 水利使用許可（水利権）の更新や取水施設の確保に取り組むとともに、企業団水を安定して確保するために大阪広域水道企業団との連携強化に努めます。

施策Ⅰ ふたつの水源を守り充実を

事業(Ⅱ) 淀川表流水の維持

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
泉浄水所表流水源の維持・管理	企業団水受水申込 ・水利使用許可更新業務の委託						◎施設G ○経営G
						・認可変更に係る業務の委託	


方針Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

【事業目的・概要】

膜ろ過方式の水処理施設への更新、排水処理施設の建設、建屋の耐震化など、老朽化した浄水処理施設を抜本的に更新し、災害時においても安定供給が可能な拠点施設を目指します。

施策2 片山浄水所を中心とした整備を進める

事業(1) 片山浄水所水処理施設の更新

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
片山浄水所水処理施設更新工事	 ・土木工事 ・建築電気工事 ・建築機械工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事	・供用開始					施設G

方針Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

【事業目的・概要】

災害時の活動拠点としての充実を図るとともに、市民に親しまれる浄水所を目指して、更新工事後の既存施設の撤去及び場内整備を行います。

施策2 片山浄水所を中心とした整備を進める

事業(2) 片山浄水所の場内整備


取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
片山浄水所場内整備工事	・設計業務	・工事着手	既設構造物の撤去 ・擁壁調査	・法面是正		・場内整備	施設G

方針Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

施策2 片山浄水所を中心とした整備を進める

事業(3) 片山浄水所・泉浄水所連絡管の整備

【事業目的・概要】
 口径1,000mmの連絡管を布設し、片山浄水所と泉浄水所の相互融通を可能とするとともに、2つの配水エリアを結ぶことで、片山浄水所を中心とした送配水ネットワークを構築します。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
片山浄水所・泉浄水所連絡管布設工事	 ・配管、復旧工事	・供用開始					建設G

方針Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

施策2 片山浄水所を中心とした整備を進める

事業(4) 南千里分岐・片山浄水所送水管の整備

【事業目的・概要】
 大阪広域水道企業団・千里幹線バイパス管から佐井寺配水場及び片山浄水所への送水管の耐震化、複線化を行い、片山浄水所の機能強化及び安定給水の確保を図ります。
 泉浄水所の将来的な機能停止に向けて、片山浄水所経由での企業団水の配水を可能とするための重要管路として整備します。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
南千里分岐・片山浄水所送水管布設工事	設計業務 (佐井寺配水場-片山浄水所)	布設工事 (佐井寺配水場-片山浄水所)					◎計画G ○建設G
			設計業務 (南千里分岐-佐井寺配水場)		布設工事 (南千里分岐-佐井寺配水場)		

方針Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

【事業目的・概要】

水道システムの重要施設である浄配水場について、泉浄水所の抜本的更新を留保しつつ、経年化する施設等の更新、耐震化を進め、水道システム全体の安定性向上を効率的に図っていきます。

津雲配水場場内管の耐震化のほか、各配水場における予防保全のための経年設備の更新を計画的に実施します。

施策3 浄水所、配水場の整備と管理の向上を

事業(1) 浄配水施設の更新・耐震化

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
津雲配水場場内管耐震化工事	<ul style="list-style-type: none"> 支障物撤去場内整備 配管、建築電気工事 	・供用開始					◎施設G ○浄水G
配水施設・設備等の更新工事	経年設備の更新						◎施設G ○浄水G
部庁舎、泉浄水所浄水施設等の更新	<ul style="list-style-type: none"> 計装設備の更新 受変電設備更新(庁舎) 	・受変電設備更新(第3電気室)		・受変電設備更新(第1電気室)	・機械設備更新	・活性炭吸着池改修 ・配水ポンプ更新	◎施設G ○浄水G

方針Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

【事業目的・概要】

水道システムの重要施設である浄配水施設を適切に維持管理することで、水道システム全体の安定性向上を効率的に図ります。

水道維持管理指針に基づく保守点検や修繕工事、配水池の定期的な清掃、劣化診断を実施するとともに機器台帳システムを活用した施設の維持管理に取り組みます。

施策3 浄水所、配水場の整備と管理の向上を

事業(2) 浄配水施設の維持・管理

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
泉浄水所の維持・管理	実施						◎施設G ○浄水G
片山浄水所の維持・管理	実施						◎施設G ○浄水G
配水施設・設備等の維持・管理	実施						◎施設G ○浄水G
配水池の劣化診断・池内清掃	・津雲配水場(第1～3)	・千里山配水場	・泉浄水所(第2)	・山田配水場 ・片山浄水所(第4)	・泉浄水所(第1) ・片山浄水所(第2)		◎施設G ○浄水G
施設台帳の充実・活用	<ul style="list-style-type: none"> 充実・活用 機器台帳システム更新 			・タブレット端末導入・活用			◎施設G ○浄水G

管理指標	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	配水池点検率	27.3%	36.4%	54.5%	72.7%	90.9%	90.9%

方針Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

【事業目的・概要】
 送水管・配水本管をはじめとした基幹管路の耐震化に取り組み、大規模地震等においても送配水機能を損なうことがないように、強靱な送配水ネットワークを構築します。

施策4 水道管の整備と管理の向上を

事業(1) 基幹管路の整備

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
基幹管路耐震化工事	更新 新設 4.6km	1.4km	0.8km	1.7km	2.4km	4.2km	◎建設G ○計画G

管理指標	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	基幹管路の耐震適合率		54.3%	55.0%	55.4%	56.2%	57.4%

方針Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

【事業目的・概要】
 老朽化した配水管を、吹田更新基準に基づいて耐震管に取り替えていくことで、大規模地震等に備えるとともに、破損漏水や管内部の鉄さび等による濁水の抑制を図ります。

施策4 水道管の整備と管理の向上を

事業(2) 配水支管の整備

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
経年管の更新・管路の新設 (重要給水施設管路のルート検証・更新)	更新 8.0km	8.0km	8.0km	8.0km	8.0km	8.0km	◎建設G ○計画G
	新設 0.5km	0.5km	0.5km	0.5km	0.5km	0.5km	

管理指標	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	重要給水施設管路耐震化適合率(箇所比)		11.6%	11.6%	13.0%	14.5%	14.5%	15.9%
	法定耐用年数超過管路率		38.1%	38.1%	38.8%	39.2%	39.6%	39.3%
	管路の更新率		1.22%	1.22%	1.22%	1.21%	1.20%	1.19%

方針Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

【事業目的・概要】

漏水調査や付属設備の点検など、効率的・効果的な管路の維持管理により、健全な水道システムを維持し安定給水を図ります。

マッピングシステムを活用した弁栓等の付帯設備や河川、幹線道路の横断管路などの点検、管理の充実を図ります。

施策4 水道管の整備と管理の向上を

事業(3) 管路の維持管理の充実

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
管路の点検・管理の向上	点検・管理の向上 ・弁室台帳作成(基幹管路)	・漏水マップの作成			・漏水マップの作成		管理G
マッピングシステムの充実・活用	充実・活用						管理G
新たな漏水調査方法の検討・実施	実施						管理G
定期的な管内洗浄	実施						管理G
基幹管路の被害想定	修繕困難箇所 の洗出し、 対応策の検討						管理G

方針Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

【事業目的・概要】

災害等の発生時に備えて、迅速な応急給水、応急復旧をはじめ、円滑に対応できるよう、これまでの被災地派遣等の経験を活かして、既存のマニュアルや計画を見直すとともに、職員への周知を図ります。また、災害時の被害想定やそれに基づく耐震化計画の策定に取り組みます。

事故や事務処理ミス等の再発防止に向けた取組を進めます。

施策5 災害に強い体制を築く

事業(1) 計画・マニュアルの充実

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
危機管理マニュアル及びBCP(事業継続計画)の運用	運用見直し						総務G
受援計画の策定・運用	・策定	運用見直し					総務G
耐震化計画の策定・運用	検討策定		運用				◎計画G ○総務G 経営G 施設G
事件事例の情報共有・再発防止	・情報共有方法の検討 ・事故報告フロー図等の作成	実施					◎経営G ○総務G

方針Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

施策5 災害に強い体制を築く

事業(2) 応急給水・復旧体制の充実

【事業目的・概要】

災害等の発生時に迅速、円滑に応急給水、応急復旧ができるよう、必要な資機材の確認、在庫管理に努めるとともに、他事業体等との相互応援など連携を図ります。

災害時により身近な場所での給水が可能となるよう、災害時給水所の充実や、防災訓練などを通じた地域との連携に努めます。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
応急給水に必要な資機材の確保	実施						総務G
災害時給水拠点・給水所の整備	実施 ・泉浄水所整備 ・津雲配水場整備 ・組立式給水タンク配備	・片山浄水所整備 ・蓮間配水場整備					総務G
災害時を想定した訓練の企画・実施	実施						総務G
応急復旧に必要な資機材の確保	検討	実施					管理G
管理指標	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	応急給水施設数	45か所	45か所	45か所	45か所	45か所	45か所



～将来にわたり持続可能な
水道事業の経営～



SPWU
吹田市水道部
Suita Public Water Utility

方針Ⅲ 将来にわたり持続可能な水道事業の経営

施策Ⅰ 強固な経営の土台を築く

事業(1) 計画の推進

【事業目的・概要】

「すいすいビジョン2029」に基づく各施策・事業を着実に進め、基本理念の実現を目指します。

具体的な実施計画であるアクションプランをPDCAサイクルにより継続的に進捗管理し、その成果の見える化を図ります。

中長期的な視点でのアセットマネジメント(資産管理)や定期的な財政状況の検証を行います。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
アクションプランの進捗管理・見直し	実施				ビジョン・アクションプランの見直し		経営G
財政計画の検証	実施 ・アセットマネジメントの見直し(WT設置)				財政状況、料金水準の検証、財政推計の実施		◎経営G ○経理G 計画G 施設G

管理指標	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	経費(料金)回収率	115.0%	114.0%	112.8%	113.9%	111.2%	109.3%
	流動比率	212.3%	198.2%	194.4%	203.2%	220.9%	204.6%
	給水収益に対する企業債残高の割合	256.9%	270.5%	283.6%	297.7%	313.6%	318.3%

方針Ⅲ 将来にわたり持続可能な水道事業の経営

施策Ⅰ 強固な経営の土台を築く

事業(2) 財源確保の取組

【事業目的・概要】

水道事業経営の原資となる水道料金の適正化や、その他の収入源の確保により、経営基盤の強化を図ります。

水道料金滞納者への債権回収や未利用資産の貸付など活用に努めるほか、営業収益に大きな影響を与える地下水利用専用水道への対応を検討します。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
地下水利用専用水道設置への対策	実施 ・調査	調査、研究	調査、研究	検討			経営G
弁護士と連携した債権回収の実施	実施						料金G
未利用資産の活用	活用						総務G
企業債、補助金(国・府への要望)等の活用	活用 要望						◎経理G ○経営G

管理指標	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	経費(料金)回収率	115.0%	114.0%	112.8%	113.9%	111.2%	109.3%
	流動比率	212.3%	198.2%	194.4%	203.2%	220.9%	204.6%
	給水収益に対する企業債残高の割合	256.9%	270.5%	283.6%	297.7%	313.6%	318.3%

方針Ⅲ 将来にわたり持続可能な水道事業の経営

施策Ⅰ 強固な経営の土台を築く

事業(3) 広域連携による効率的な事業実施

【事業目的・概要】

効率的な事業実施を目指して、近隣事業者と連携し、施設の統廃合や業務の共同発注、資機材の共同利用等の研究・検討に取り組みます。

企業団、豊中市、箕面市と連携した共同ポンプ施設の整備、その前段となる蓮間配水場の機能停止に向けて、豊中市との連携による配水場の共同化に取り組みます。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
豊中市、箕面市、大阪広域水道企業団との連携による配水施設の統廃合	3市共同ポンプ施設の築造 第1期工事						◎施設G ◎経営G
柿ノ木配水場(豊中市)の共同使用	協議 蓮間低区・高区配水管 布設工事		第三者委託による運用				◎経営G ◎建設G 施設G
他事業者との連携推進	施設の共同化、業務の連携の検討 府域一水道に向けた協議会への参加						経営G

方針Ⅲ 将来にわたり持続可能な水道事業の経営

施策Ⅰ 強固な経営の土台を築く

事業(4) 効率的な業務執行

【事業目的・概要】

料金業務の包括委託など、公的責任を果たすことを前提とした官民連携の推進、業務見直しやICT技術の活用などによる業務の効率化を図ります。

多様な用途への活用が期待できるスマートメーターの実証実験など機会を捉えて積極的に取り組みます。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
料金業務の包括委託		・電話受付業務の委託	包括委託の検討		業者決定委託業務実施		◎料金G ◎給水相談G
料金システム更新による効率化	・業者決定(プロポーザル方式)	・システム開発	・システム開発、新システム稼働				料金G
事務改善の実施(「無・減・代」活動の実施、業務委託、PFI等の検討)	実施						経営G
ICTの活用	・スマートメーターの研究	・スマートメーターの研究・検討					◎総務G ◎料金G

管理指標	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	経費(料金)回収率		115.0%	114.0%	112.8%	113.9%	111.2%
給水原価		147.6円	148.1円	148.9円	146.5円	149.4円	151.1円

方針Ⅲ 将来にわたり持続可能な水道事業の経営

施策Ⅰ 強固な経営の土台を築く

事業(5) 技術監理の向上

【事業目的・概要】
 施設・管路の適正な整備、維持管理や優れた技術の導入を図り、より効果的に水道施設の強靱化を図ります。
 工事の設計・積算基準や指針の作成、工事監理、検査に関する勉強会の実施や、定期的
 に新技術、新材料の検討を行い、導入していきます。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
工事監理の向上 (研修、勉強会等)	実施						◎計画G ○工務室 浄水室
新技術・新材料の 調査研究・導入	調査 研究						◎計画G ●資材基準 検討委員会
	給水管耐震化の検討		導入				

方針Ⅲ 将来にわたり持続可能な水道事業の経営

施策2 人を育て、強い組織を築く

事業(1) 人材育成と技術の継承

【事業目的・概要】
 必要な人材を育成し、技術・技能を継承していくために、長期的な視点から計画的に専門性の維持・向上を図ります。
 目指すべき職員像や段階ごとに必要な能力を明確にした人材育成方針を策定し、必要な技術・技能を習得するための研修等を計画的に実施していきます。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
人材育成方針の策定	策定	周知 検証					人事G
計画的・段階的な 研修の実施	・研修計画の 調査、研究 研修、部内 インターン シップの 実施	・研修計画 策定					人事G

管理 指標	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	研修時間 (内部+外部)		22.8時間/人	23.0時間/人	23.2時間/人	23.4時間/人	23.6時間/人

方針Ⅲ 将来にわたり持続可能な水道事業の経営

施策2 人を育て、強い組織を築く

事業(2) 組織編成の最適化

【事業目的・概要】

市民に信頼される安全で安定した事業運営を維持するとともに、職員が心身ともに健康に働き続けることができる組織体制を構築します。

業務量に応じた職員配置となるよう必要な人材を確保するとともに、より効率的な業務実施に向けた体制づくりに努めます。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
職員体制計画に基づく組織編成	実施						経営G

方針Ⅲ 将来にわたり持続可能な水道事業の経営

施策3 みんなの地球環境を守る

事業(1) 環境に配慮した事業の推進

【事業目的・概要】

健全な水循環の上に成り立つ水道事業において、浄水処理や配水に大量の電力を必要とすることから、太陽光発電や小水力発電など水道施設を利用した再生可能エネルギーの導入をはじめとした環境負荷低減を図るとともに、イベント等を通じて水環境保全についての啓発活動に取り組みます。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
環境負荷低減の取組	照明等のLED化 経年空調設備の更新		・片山浄水所 太陽光発電設置 ・津雲配水場 太陽光、小水力 発電設置				◎施設G ○総務G
SUITA MOTTANOCITY ACTIONPALANの推進	実施						総務G
リサイクル資材の活用・建設副産物の抑制	実施						計画G
水環境に対する啓発活動	実施						総務G

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
配水量1m ³ 当たり電力消費量	0.25kWh/m ³	0.28kWh/m ³	0.28kWh/m ³	0.28kWh/m ³	0.26kWh/m ³	0.26kWh/m ³

地域

～吹田らしさを活かした
市民に身近な水道事業の運営～



吹田市水道部
SPWU
Suita Public Water Utility



方針Ⅳ 吹田らしさを活かした市民に身近な水道事業

施策Ⅰ 使う人に便利で快適なサービスを

事業(1) 料金に係るサービスの充実

【事業目的】

インターネットやスマートフォンアプリ等を用い、より利便性の高いサービスの検討、導入に取り組みます。

また、従来から実施している高齢者声掛けサービスや認知症サポーターの取組を継続するとともに、電子申請による閉栓栓受付やコンビニ収納、口座割引制度等の周知に努めます。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
各種手続き等の利便性向上 (新サービスの検討、実施等)	実施 ・電子決済の開始			・クレジットカード決済開始			料金G
高齢者声掛けサービス等の実施	実施		・認知症サポーター養成講座実施				料金G

方針Ⅳ 吹田らしさを活かした市民に身近な水道事業

施策Ⅰ 使う人に便利で快適なサービスを

事業(2) 給水装置の維持管理に係るサービスの充実

【事業目的】

高齢者が水道を安心して使用できるためのサービスとして、職員が高齢者宅を訪問し、水道に関する相談、点検を引き続き実施します。また、市民からの相談や苦情について部内で情報共有し、改善に努めます。

そのほか、10m³以下の受水槽の点検等、水道水を安心して使用していただくための取組を進めます。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
高齢者宅の水道相談・点検	実施						給水相談G
給水相談への対応の充実	充実						給水相談G

管理指標	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	水道事業に対する苦情対応割合	0.5件/1,000件	0.5件/1,000件	0.5件/1,000件	0.5件/1,000件	0.5件/1,000件	0.5件/1,000件

方針Ⅳ 吹田らしさを活かした市民に身近な水道事業

施策Ⅰ 使う人に便利で快適なサービスを

事業(3) 水道水質に係るサービスの充実

【事業目的】
 水道使用者からの水道水の水質に関する相談等に対し、じゃ口から出る水道水の水質検査を行うとともに、検査結果や対応に関する情報提供により、水質への不安解消に努めます。また、鉛製給水管に対する水質検査についても、適切に対応します。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
水質不安解消の取組	実施 ・水質検査、検査結果の情報提供等						水質G

方針Ⅳ 吹田らしさを活かした市民に身近な水道事業

施策Ⅱ 市民と一っしょに水道を考える

事業(1) 多様な手段による広報の充実

【事業目的】
 多くの市民に取組や事業内容を周知・PRするために、広報誌やホームページのより一層の充実を図るとともに、SNS等を活用し、災害時等において断水状況や応急給水などの重要な情報を迅速に提供します。
 イベントや出前授業、いどばた会議等地域に足を運び水道事業に関して説明、PRする取組を進めます。
 取組対象や内容を明確にして戦略的な広報に努めます。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
広報戦略の策定	検討	策定	運用				総務G
多様な手段による情報発信	実施		広報戦略に基づく広報の推進				◎総務G ○全G
職員が地域に行く情報発信	実施 ・出前授業、出前講座、水道いどばた会議等						◎総務G ○全G

管理指標	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	イベント等による情報の提供回数	55回以上	55回以上	—	—	—	—
若年層のすいどうにゆーすの読書率	—	—	28.0%	—	29.2%	—	

※令和3年度に策定した広報戦略「広報コンパス5D」に基づき、管理指標を見直しました。

方針Ⅳ 吹田らしさを活かした市民に身近な水道事業

施策2 市民といっしょに水道を考える

事業(2) 市民参画の推進による広聴の充実

【事業目的】

事業経営に関する重要事項については諮問機関である水道事業経営審議会の意見に基づき検討を行うなど市民参画の推進に努めます。

定期的に市民アンケートを実施し、水道部の取組や水道水に対する市民意識について情報収集と分析を行い、事業評価等に活用します。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
水道事業経営審議会の開催	実施						経営G
アンケートの実施・活用	実施・分析 (無作為抽出)		実施・分析 (無作為抽出)		実施・分析 (無作為抽出)		総務G
大学との連携	実施						◎経営G ○全G

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市民満足度	91.8%	92.1%	92.4%	92.7%	93.0%	93.3%

方針Ⅳ 吹田らしさを活かした市民に身近な水道事業

施策2 市民といっしょに水道を考える

事業(3) フューチャー・デザインの取組

【事業目的】

将来世代の視点で施策を考える「フューチャー・デザイン」について、職員を対象とした研修やグループワークを行い意識醸成を図るとともに、市民参画による「フューチャー・デザイン」を用いた施策の検討に取り組みます。

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	担当部署
フューチャー・デザインによる水道事業経営の検討	実施 ・部研修	・調査、研究	・制度設計 検討	・制度設計			経営G

「すいすいビジョン2029」管理指標

項目	単位	※1 優位性	※2 P I	積算方法	指標の解説	基準年度 平成30年度 (2018年度)	目標年度 令和11年度 (2029年度)
----	----	-----------	-----------	------	-------	----------------------------	----------------------------

1. 安全～安全で安心できる水道水の供給～

水質基準不適合率	%	↓	—	水質基準不適合回数/全検査回数×100	給水栓での水質基準値に対する不適合割合を表している	0.0	0.0
水源確認回数	回	↑	—	水源の巡視等の回数	淀川表流水の取水地点である淀川取水場もしくはその周辺の状況を、巡視等により調査した回数であり、水源の健全性の確認頻度を表している	28	28
鉛製給水管率	%	↓	A401	(鉛製給水管使用件数/給水件数) ×100	給水件数に対する鉛製給水管使用件数の割合を示すものであり、鉛製給水管の解消に向けた取組みの進捗度合いを表す指標の一つ	6.9	1.4
直結給水率	%	↑	A204 を援用	(直結給水戸数/ (直結給水戸数+受水槽戸数)) ×100	給水戸数に対する直結給水戸数の割合を示すもので、受水槽管理の不備に伴う衛生問題などに対する水道事業者としての取組み度合いを表す指標の一つ	70.1	75.0
小規模貯水槽水道点検率	%	↑	A205 を援用	(小規模貯水槽水道点検件数/小規模貯水槽水道数) ×100	小規模貯水槽水道 (10m ³ 以下の貯水槽) 数に対する点検を実施した件数の割合を示すもので、水道事業としての貯水槽水道への関与度を表す指標の一つ	95.5	97.0

2. 強靱～災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築～

地下水源率	%	↑	—	(地下水量/年間総配水量) ×100	水源別総配水量に対する水源別総地下水量の割合を示すもので、水道事業者の水源特性を表す指標の一つ	11.1	15.0
基幹管路の耐震適合率	%	↑	B606-2	(基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長/基幹管路延長) ×100	基幹管路の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、B606 (基幹管路の耐震管率) を補足する指標	48.5	65.0
重要給水施設管路耐震化適合率(箇所比)	%	↑	—	管路の耐震適合性を有する重要給水施設箇所数/重要給水施設箇所数	重要給水施設の総箇所数 (69箇所) に対する耐震適合性のある管路で供給されている重要給水施設の箇所の割合を示す指標	8.7	20.0
法定耐用年数超過管路率	%	↓	B503	(法定耐用年数を超過している管路延長/管路延長) ×100	管路の延長に対する法定耐用年数を超過している管路の割合を示すものであり管路の老朽度、更新の取組み状況を表す指標の一つ	37.7	40.0
管路の更新率	%	↑	B504	更新された管路延長/管路延長×100	管路の延長に対する更新された管路延長の割合を示すもので、信頼性確保のための管路更新の執行度合いを表す指標の一つ	0.91	1.20
配水池点検率	%	↑	—	劣化診断等の点検を実施した配水池数/総配水池数	躯体コンクリートの劣化状態を点検した配水池の割合を示すものであり、健全性確保のための配水池点検の執行度合いを表す指標の一つ	0.0	100.0
応急給水施設数	箇所	↑	B611を 援用	配水池・緊急貯水槽・組立式貯水槽等の設置箇所数	応急給水施設数を示すもので、震災時などにおける飲料水の確保のしやすさを表す指標の一つ	21	45

3. 持続～将来にわたり持続可能な水道事業の経営～

経費(料金)回収率	%	↑	C113	(供給単価/給水原価) ×100	給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標の一つ 必要な経費を回収できない状況を避けるため、下限を100%とする	107.3	100.0
給水原価	円/m ³	↓	C115	(経常費用-(受託工事費等+長期前受金戻入見合いの減価償却費等))/有収水量	有収水量1m ³ 当たりの経常費用 (受託工事費等を除く) の割合を示すもので、水道事業でどれだけ費用がかかっているかを表す指標 施設更新の本格化に伴う減価償却費の増加等を踏まえ、令和11年度(2029年度)の値を150円/m ³ と見込む	140.9	150.0
流動比率	%	↑	C118	(流動資産/流動負債) ×100	流動負債に対する流動資産の割合を示すものであり、事業の財務安全を表す指標の一つ (流動負債：未払い金、預り金など1年以内に支払う必要があるもの。流動資産：預金・現金、土地や建物、貯蔵品など1年以内に現金化できるもの。)	199.2	200.0
給水収益に対する企業債残高の割合	%	↓	C112	(企業債残高/給水収益) ×100	給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す指標の一つ 2大工事等の財源確保のために一定の上昇を見込むものの将来世代の負担を考慮し350%を上限とする	187.1	350.0
研修時間 (内部+外部)	時間/人	↑	C203 を援用	(職員が研修を受けた時間×受講人数) /全職員数	職員一人当たりの内部・外部研修の受講時間を表すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標の一つ	22.4	25.0
配水量1m ³ 当たり電力消費量	kWh/m ³	↓	B301	(年間電力消費量/年間配水量)	配水量当たりの電力消費量の割合を示すもので、省エネルギー対策への取組具合を表す指標の一つ	0.25	0.30
有収率	%	↑	B112	(年間有収水量/年間配水量) ×100	年間配水量に対する年間有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量が、どの程度収益につながっているかを表す指標の一つ	95.9	96.0

4. 地域～吹田らしさを活かした市民に身近な水道事業の運営～

水道事業に対する苦情対応割合	件/1,000件	↓	C504 を援用	(水道事業に対する苦情対応件数/給水件数/1,000)	給水件数に対する水道事業 (サービス、料金や水質等) に関する苦情対応件数の割合を示すもので水道サービス向上に対する取組み状況を表す指標の一つ	—	0.5
※3 若年層のすいどうにゅーすの読書率	%	↑	—	(若年層の「読んだことがある」の回答数/若年層のアンケート回答総数) ×100	アンケート調査の回答ですいどうにゅーすを「読んだことがある」と回答した人数の割合 (若年層) を示し、若年層のすいどうにゅーすの認知度合いを表す指標の一つ	26.7	33.0
市民満足度	%	↑	—	「満足している」等の回答数/アンケート回答総数×100	アンケート調査の回答で水道事業に「満足している」等と回答した人数の割合を示し、市民の水道事業への満足度合いを表す指標の一つ	91.2	95.0

※1 優位性「↑」は数値が高い方が望ましい場合、「↓」は数値が低い方が望ましい場合

※2 PI=Performance Indicator : 日本水道協会が平成17年 (2005年) 1月に制定し、平成28年 (2016年) 3月に改正した水道事業ガイドラインに定められている119項目の業務指標

※3 令和3年度 (2021年度) に策定した広報戦略「広報コンパス5D」に基づき、管理指標の項目を見直しました。また、基準年度の値は令和2年度 (2020年度) の実績値を採用し、目標年度の値は令和12年度 (2030年度) の目標値を記載しています。

財政推計



吹田市水道部
SPWU
Suita Public Water Utility



【収益的収支】

水需要の減少等による料金収入の減少が見込まれる中、より効率的な業務委託活用等により職員給与費は縮減するものの、施設の更新等に伴って減価償却費が増加するため、水道事業費用はおおむね横ばいとなる見通しです。

(単位：百万円、税抜)

年度 科目	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029
水道事業収益	7,386	7,301	7,225	7,156	7,070	7,104	6,922	6,860	6,777	6,704
料金収入	6,672	6,610	6,547	6,496	6,423	6,360	6,298	6,246	6,173	6,111
加入金	263	257	252	246	240	234	228	222	216	210
その他	451	434	426	414	407	510	396	392	388	383
水道事業費用	5,886	6,003	6,006	5,891	5,958	5,991	5,953	6,026	5,881	5,933
職員給与費	1,084	1,070	1,046	1,019	972	935	856	843	831	818
受水費	1,891	1,761	1,749	1,742	1,802	1,790	1,778	1,771	1,754	1,633
委託料	500	508	506	508	533	602	603	605	602	605
減価償却費	1,072	1,389	1,452	1,558	1,591	1,607	1,673	1,698	1,691	1,850
その他	1,339	1,275	1,253	1,064	1,060	1,057	1,043	1,109	1,003	1,027
単年度純損益	1,500	1,298	1,219	1,265	1,112	1,113	969	834	896	771

【資本的収支】

毎年、多額の建設改良費を計上しています。企業債については、計画期間の前半ではやむを得ず多額の借入を見込んでいますが、後半では将来世代への負担の増加を考慮し、企業債に過度に頼ることを避け、償還金と同程度の7億円としています。このことにより30億円程度の不足額が恒常的に発生する見通しです。

(単位：百万円、税込)

年度 科目	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029
資本的収入	4,399	1,373	1,365	1,408	1,434	733	729	729	729	729
企業債	4,370	1,344	1,336	1,376	1,402	700	700	700	700	700
その他	29	29	29	32	32	33	29	29	29	29
資本的支出	7,760	4,423	4,444	4,334	3,963	3,810	3,549	3,784	3,771	3,150
建設改良費	7,144	3,791	3,801	3,725	3,366	3,212	2,893	3,160	3,132	2,536
企業債償還金	616	632	643	609	597	598	656	624	639	614
不足額	▲ 3,361	▲ 3,050	▲ 3,079	▲ 2,926	▲ 2,529	▲ 3,077	▲ 2,820	▲ 3,055	▲ 3,042	▲ 2,421

すいすいビジョン2029 アクションプラン

令和5年（2023年）11月



すいすいくん



SPWU
吹田市水道部
Suita Public Water Utility